

【施策番号 - 1 - 15】

分野	戦略	誇りに満ちた魅力あふれる地域社会の創造
品格あるくまもと	重点的に取り組む施策	くまもと文化の創造と継承、発信

1 施策の概要 (PLAN)

(1)背景	(4)取組みの概要
<p>熊本は九州の中央に位置するという地理的優位性と合わせ、自然、歴史、文化、美しい景観など誇れる資源が数多くある。</p>	<p>【 鞠智城の国営公園化等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史公園として整備し、鞠智城の特別史跡指定及び国営公園化を推進 ・全国の古代山城や歴史的遺産等とのネットワークづくり、PR活動の推進 <p>【 世界文化遺産登録、文化財指定等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「阿蘇」、「九州・山口の近代化産業遺産群(旧万田坑、三角西港)」、「天草のキリスト教関連遺産」(以下、「3資産」という。)の世界文化遺産登録を推進 ・広域にわたり分布する文化財の価値付けや「歴史回廊くまもと」の素材ともなる新たな文化財の指定等を推進 ・阿蘇の草原の維持、管理を永続的に進めるような仕組みの検討 <p>【 芸術文化の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・永青文庫等熊本藩主ゆかりの宝物を調査、修復し、展示に活用 ・県芸術文化祭の実施や県立劇場を拠点とした取組みによる芸術、文化の振興 ・フィールドミュージアムや企画展等の実施、高齢者を対象とした地域リーダーの育成等、県民参加の博物館活動の推進
(2)めざす姿	
<p>本県の豊かな自然、歴史や文化などが再認識され、「誇りに満ちた魅力あふれる地域社会の創造」をめざす。</p>	
(3)解決すべき課題	<p>特別史跡指定及び国営公園化をめざす鞠智城や世界文化遺産をめざす阿蘇、天草のほか近代化産業遺産、熊本城や永青文庫、国宝の青井阿蘇神社など、地域の宝をいかに磨き活かしていくかが課題。</p>

2 施策の主な構成事業 (DO)

取組みの概要	担当課	平成22年度事業/決算(千円)	平成23年度事業/当初予算(千円)		
鞠智城の国営公園化等	教育庁文化課	鞠智城整備事業	42,847	鞠智城整備事業	47,082
	都市計画課	鞠智城地域活性化策PR事業	17,665	鞠智城国営公園化PR事業	27,500
		鞠智城公園計画調査事業	31,400	鞠智城公園計画調査事業	31,400
世界文化遺産登録・文化財指定等	教育庁文化課	文化財広域連携推進事業	2,176	文化財広域連携推進事業	1,179
	文化企画課	世界文化遺産登録推進事業	22,223	世界文化遺産登録推進事業	37,078
	企画課	-	-	阿蘇草原維持再生調査事業	5,000
芸術文化の振興	教育庁文化課	永青文庫推進事業	95,381	細川コレクション永青文庫推進事業	82,428
	文化企画課	県立劇場管理運営事業	378,071	県立劇場管理運営事業	367,765
		熊本県芸術文化祭推進事業	10,489	熊本県芸術文化祭推進事業	5,300
		博物館関係資料活用・学習支援事業	13,035	博物館関係資料活用・学習支援事業	13,501
		元気な高齢者によるくまもと文化の継承と発信	1,015	元気な高齢者によるくまもと文化の継承と発信	1,368
企画課	-	-	地域づくり“夢チャレンジ”推進事業(の一部「文化de地域の元気づくりプロジェクト」)	300,000の一部	

3 施策の評価 (CHECK)

(1)指標の推移						
指標(単位)	策定時	H21	H22	H23	目標値	目標値の説明
1 世界文化遺産登録に関連する資産の国指定(選定)件数(力所)	4 (H20)	4 (H21)	4 (H22)	5 (H23)	10	4年間で6カ所(米塚、中央火口丘、中通古墳群、豊後街道歴史の道、崎津の文化的景観、大江の文化的景観)の計10カ所
	達成度	40.0%	40.0%	50.0%		
2 文化施設の利用者数(万人/年)	82.3 (H19)	108.7 (H20)	86.4 (H21)	83.5 (H22)	86.2	各施設(美術館、古墳館、鞠智城、県立劇場)が掲げた目標利用者数を合算
	達成度	126.1%	100.2%	96.8%		

(2)指標の分析
<p>1. 世界遺産登録に関連する資産の国指定件数は1件の増加に止まっており、引き続き指定に向けた申請作業を継続している。</p> <p>2. 県立美術館は20.2万人、鞠智城は10.8万人とそれぞれの目標値を上回る利用者数を達成できたものの、県立劇場の改修に伴う休館等の影響もあり、全体の利用者数は目標を若干下回った。</p>

(3)平成22年度の取組みの主な成果
<p>【 鞠智城の国営公園化等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州国立博物館、平城遷都1300年祭(奈良)、国民文化祭おかやま、世界大百済典(韓国)など国内外での出展や、イメージキャラクター「ころう君」を活用した広報活動の展開により、鞠智城の知名度が向上した。 ・昨年度に引き続きの東京シンポジウム開催を通じて、鞠智城の学術的価値が更に認知された。 ・鞠智城大規模歴史公園整備計画の策定を進め、基本コンセプトを公表。特別史跡指定後の速やかな国営公園化実現を準備。 <p>【 世界文化遺産登録、文化財指定等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3資産に関する専門家委員会をそれぞれ開催し、学術的調査や保存管理計画の策定を進めた。うち、「天草」については、「崎津の漁村景観」が2月に国の重要文化的景観に選定された。 ・人吉・球磨地域をモデル地域に設定し、古社寺等に関する基礎資料を収集。文化財指定・登録申請に向けた準備が進んだ。 <p>【 芸術文化の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州新幹線開業記念「細川コレクション永青文庫の至宝展」ほか4回の展覧会を開催。県内外から約3万人の来館者があり、永青文庫周知のための「講座細川コレクション」にも600名以上の聴講者があるなど、好評を得た。 ・県芸術文化祭に182事業、約27万人が参加し、何れも21年度より増加。なかでも地元演劇人の総力を結集した「上通物語」等の公演は高い評価を得た。 ・松橋収蔵庫を拠点に県内各地でのフィールドミュージアムの開催や企画展示等を通じ、自然・文化資源の再発見に寄与。

(4)平成23年度の取組方針、取組状況
<p>【 鞠智城の国営公園化等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回古代山城サミット山鹿・菊池大会を支援し、烽火リレーや古代山城シンポジウムを実施して全国的なPRを展開する。 ・歴史的・文化的価値の明確化のため、これまでの発掘調査や整備事業に関する報告書を作成する。 ・鞠智城と周辺の史跡等とをゆるやかに連携させた全国的にも例の無い歴史公園の整備計画を策定する。 <p>【 世界文化遺産登録、文化財指定等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3資産について、文化財国指定のための学術的調査や保存管理計画の策定作業を引き続き実施する。 ・人吉・球磨地域の古社寺群等の状況把握と保存活用策の検討を進める。 ・阿蘇の草原の維持・再生に向け、課題の把握や、永続的な維持管理のための官民連携体制の検討を進める。 <p>【 芸術文化の振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・永青文庫の展覧会を5回開催。並行して関連講座も開催する。 ・文化による地域活性化に向け、「文化de地域の元気づくりプロジェクト」を新たに推進する。 ・県立劇場を拠点としたくまもと文化の創造と発信に係る事業や、松橋収蔵庫を中心に県民参加の博物館活動を継続する。

(5)施策の進捗に関する総合評価
<ul style="list-style-type: none"> ・鞠智城について、各種イベントの実施や出展、「ころう君」を活用した広報活動を展開した結果、一定の知名度向上が進み、来場者数の増加が見られるほか、国営公園化に向けた機運の醸成も図られつつある。 ・世界文化遺産登録の条件整備となる文化財国指定について、学術的調査が着実に進展している。 ・県外でも細川コレクションの知名度が向上したことなどを受け、県立美術館の来館者数も増加している。 ・県芸術文化祭や県立劇場を拠点とした活動を通じて、芸術文化の振興や地域文化の継承、発展に寄与している。

(6)施策を推進していく場合の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・鞠智城について、特別史跡の速やかな指定と国営公園化の実現に向けた取組みを継続する必要がある。 ・世界文化遺産に係る3資産の何れについても、広域での対応や一定量の事務手続きが求められるため、関係自治体との緊密な連携と長期に渡る継続した取組みが必要である。 ・芸術文化の振興については、成果が現れるまでに一定の期間を要するため、中・長期的な視点に基づき取り組む必要がある。また、県内外への情報発信も重要である。

4 今後の方向性 (ACTION)

<ul style="list-style-type: none"> ・鞠智城について、知名度向上の取組み、発掘調査結果等のとりまとめ、関係団体と連携した要望活動等を継続して実施するほか、発掘調査の結果等に基づく歴史的・文化的価値付けを着実に進める。 ・世界文化遺産登録に向け、推進協議会等を通じて関係者の意思統一や連携体制を確立、登録に向けた作業を着実に進める。 ・永青文庫等の展覧会情報を九州新幹線沿線为重点的に広報して知名度を向上させ、県外からの来館者を呼び込む。 ・県芸術文化祭への県民の参加促進、県立劇場を中心とした事業展開により、くまもと文化の情報発信と人材の育成を進める。また、地域活性化につながる新たな文化活動の取組みや埋もれた文化資源の掘り起こし、磨き上げを図る。
